

令和8年3月31日

札幌市長 秋元 克広 様

札幌市営住宅指定管理者

日興美装工業株式会社

代表取締役 宮 嶋 秀

令和8年度 自主事業計画

- 1 各自主事業概要
- 2 自主事業収支計画表
- 3 自主事業実施計画表

―自治会支援活動の体制。―

自治会支援活動の体制は、指定管理者が自ら支援できる活動については、指定管理者である「日興美装工業株式会社」がおこない、高齢者の「仲間づくり」・「居場所づくり」・「役割づくり」・「支え合い」や「見守り」活動に繋がる支援活動及び多世代交流についての活動支援などは、「NPO法人シーズネット」等と協力して取り組みます。

さらに、多様な条件を抱える入居者も多いことから、Bブロック各地域の事情に精通し、且つ、地域まちづくりや地域包括ケアに対しても経験豊富な「地区社会福祉協議会さん、地域包括支援センターさん、介護予防センターさん、まちづくりセンターさん、福祉のまち推進センターさん」にも連携を要請し、地域情報の収集をおこない自治会活動を支えるサポートに当たります。

尚、この活動に必要な事業経費については、指定管理者経費から捻出せず、日興美装工業株式会社の直接会社経費で負担します。

―活動目標。―

自治会の活動状況や課題を把握した上で、指定管理者が取り組むことによる、効果の高いもの、緊急性があるもの、重点的に取り組むべきものや、専門性が求められるものについて検討し、必要に応じて専門性の高い地域活動団体の協力を得て、自治会ニーズに沿った、有効な支援活動を計画して行きます。

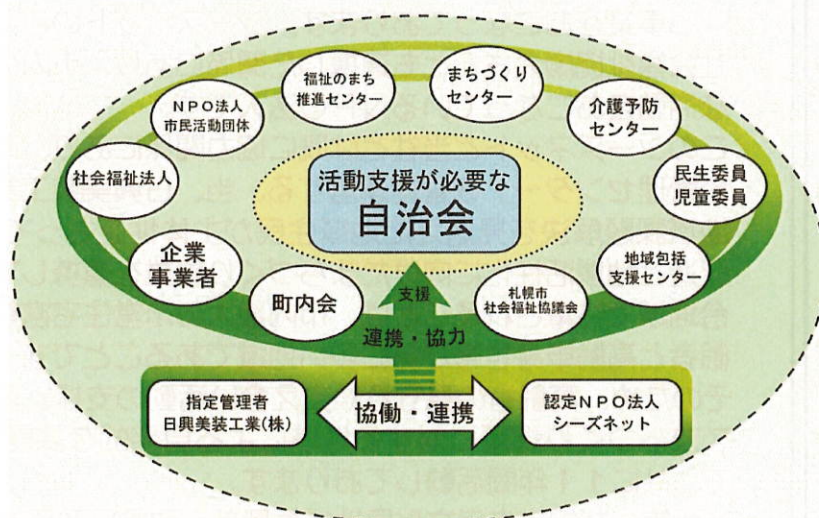
また課題に即して、入居者個々の生活や活動に役立つ情報提供をおこない、既存の取り組みや新たな取り組みの後押しをおこなって行きます。

―活動方針及び目的。―

実施にあたっては、専門性の高い地域活動団体との連携体制を意識しながら取り組むことで、自治会組織が入居者にとって関わりの深い組織であることの認知度アップにも繋がります。また、入居者に対しての情報提供・情報発信に力を入れ、新たに取組む事業への積極参加を促すことで、自治会活動を担う新たな担い手の発掘と活動の場を提供して行きます。

特にこれからは、子育て世代にあたる若い入居者層の意見を聞く場も設け、自治会活動との接点を増やしていくことを心掛けます。

さらに、定着してきた行事やイベントについては実行委員会形式での開催に移行することを目指し、参加した入居者が自ら企画・運営・実施に取り組む機会を設け、入居者自身が主体的に活動を展開して行くことで、自治会組織の活性化にも繋がるお手伝いをして行きます。



自治会支援活動 連携・協力団体紹介

認定NPO法人 シーズネット

(札幌市北区北10条西4丁目1 SCビル2F)



認定NPO法人 シーズネット(以下、シーズネットという。)は、シニア世代が生き生きとした豊かな人生を歩むことができるよう支援することを目的として、2001年に設立された特定非営利活動法人(以下、NPO法人という。)です。

これからは「地域家族」の時代であるとの考えから、元気な高齢者が助けの必要な高齢者を支えるような「仲間づくり」・「居場所づくり」・「役割づくり」・「支え合いの輪」を広げる活動方針を掲げ、道内約700名の会員と共に様々な事業に取り組んでおります。

- ◆ 「仲間づくり」では、会員の自発的な自主的行動により、現在34のサークル・グループを形成し、毎月定期的にシーズネット本部の研修室や市内の拠点で活動しております。
- ◆ 「居場所づくり」では、地域交流サロンとして“サロンこのはな(豊平区)」、また平成27年1月には“シネマサロンなないろ(厚別区)”をそれぞれ開設しており、支援者と利用者ともども地域住民との交流をしております。
- ◆ 「役割づくり」では、市民・道民に向けての老人クラブ慰問、市民団体活動への参画などの他、地域づくり事業や老後のあんしん事業として、
 1. あんしん住まいサッポロ(高齢者向け住環境の提供)
 2. サービス付き高齢者向け住宅登録作業
 3. 北海道あんしん賃貸支援事業(高齢者世帯の安心した住環境の応援)
 4. 北海道中国帰国者支援交流事業(高齢化する帰国者への支援)など、相互に関連する高齢者向けの各種事業を展開しております。
- ◆ 「支え合い」では、2014年度より、傾聴ボランティアを養成し、「話し相手が欲しい」「悩みをゆっくり聞いて欲しい」など、ひとり暮らし・高齢者向け住宅へ派遣する事業をおこなっております。シーズネットのこうした地域福祉活動は、札幌市社会福祉協議会さんとも連携した関係にあり、市内の福祉専門機関とも密接で活発な活動をおこなっているNPO法人です。

このシーズネットと当社とは既に協力関係にあり、厚別区もみじ台に在る「もみじ台管理センター」を管理運営する、当、日興美装工業(株)のパートナー団体として、地域課題解決を見据えた地域住民が主体性をもって取り組むコミュニティ活動の促進と地域活性化に向けたまちづくり事業を連携して取り組んでおります。もみじ台地域で特筆されることは、市内最大の市営住宅密集地域であり、65歳以上の高齢者と高齢単身世帯が特に多い地域であることです。

そのため、高齢者の見守りや支え合い活動の支援、多世代交流の支援、さらに多様なまちづくり課題に対する地域による自発的な課題解決力の向上支援を目的として、共に11年間活動しております。



(所管：札幌市市民文化局地域振興部区政課区政係)

5. 自治会の活性化に向けた想定事業

コロナ渦でいろいろな活動ができなくなり、最低限の活動しかできなくなりましたが、当社ではウィズコロナ、アフターコロナ、不安定な時代の中で地域コミュニティの活性化のチャンスに変えて行きたいと考えています。

アフターコロナのコミュニティの役割

- ◆ 孤独の解消
地域コミュニティを知りたくなる
(社会とのつながりを感じる機会をつくる)
- ◆ 多様なコミュニケーションの方法で多様な人とつながる
オンライン、在宅ワークが日常になってきている
(SNSやFacebook等の活用)
- ◆ 居場所づくり
地域コミュニティでの時間が増え、居場所のニーズが高くなる
(参加しやすい小さな活動にする、自分の好みで参加できる)

―アンケート調査。―

当社では、各自治会に対して、ニーズの洗い出しをおこなうためのアンケート調査を実施しています。

このアンケート調査を年1回程度おこない、札幌市住宅課さん及び協力専門団体と、各自治会活動の現状把握並びに支援活動のあり方について検証し、今後の活動計画についての意見交換や協議をおこなって行きます。

アンケートの結果は、ホームページと団地内掲示板等で公表します。

Bブロックのアンケートでは学びたいこととして、認知症への理解と対応やサロン作りについて等、実際に意見を頂いております。現状の問題点や学びたいことを聞くことで、支援活動のベースにして行きます。

効果の高いもの、緊急性があるもの、重点的に取り組むべきものや、専門性が求められるものについて事業を分類し、必要に応じて専門性の高い地域活動団体の協力を得て着手して行きます。

① お年寄りが安心して生活をするために、
地域が連携した見守りや支え合いがある団地にする(孤独の解消)

◀ 電話やSNSによる「安心ほっとコール」を実施します ▶

自治会、地域包括支援センターさん、民生委員さんなどと連携した高齢者の見守り活動を支援します。自治会では、自治会費の徴収と回覧板の受け渡し、地区によっては広報さつばろの手渡し配付などでの個別の見守りが可能と聞いておりますが、実際にはアンケート調査では不安に感じられている方もいます。しかし、コロナ禍で見回り活動が思うようにできない状況でした。

そこで当社は、後期高齢者に該当する70歳以上で且つ単身世帯に向けた「電話やSNSによる安心ほっとコール」を実施したいと考えております。

対象となる方々には個人情報情報の取扱いなどに細心の注意を払いながら札幌市さんと相談した後に取組んで行きます。

電話やSNSで異変を感じたら、自治会担当者及び地域包括支援センターさんへ連絡を取ります。

「見守り対応表」の記録などの連携体制をしっかりと確認してから開始します。

Bブロック全区対象とし、市営住宅窓口センターからスタッフが月1回程度ご連絡させていただきます。

安心ほっとコール

「安心ほっとコール」とは、
当社社員が、サービスを希望される方に電話やSNSで、
「お元気ですか?」「体調など変わったことはありませんか?」など、
心をこめて連絡させていただくサービスです。



70歳以上で、且つ単身世帯の方を対象としたサービスです。

ご不明な点や、ご希望される方は、
お手数ですが市営住宅窓口センターにお問い合わせください。

Q: 何をしてくれるサービスなの?
A: 日常生活のお困り事や健康状態などをお電話やSNSで確認する、
みまもりサービスです。
関係先及び専門機関へのご連絡もお手伝いします。

Q: 費用はいくらかかるの?
A: 費用は一切かかりません。
当社が行う指定管理者業務の一環としてのサービスです。

Q: 利用するにはどうすれば良いの?
A: 下記連絡先までお電話ください。

お問い合わせ先
札幌市東区北21条東18丁目3-5
日興美装工業株式会社 市営住宅窓口センター
営業時間 8:30 ~ 17:30 (年中無休)
フリーダイヤル : 0120-846-219

※「安心ほっとコール」は平日、営業時間の8:30~17:30で行います。
※「安心ほっとコール」は札幌市の許可を得て、弊社独自で取り組んでいます。
※個人情報の取得について、申込書により個人情報を取得させていただきます。
取得した個人情報は、本サービスの施行にのみ利用させていただきます。

② 自治会からの情報発信力を高めるお手伝いをする (多様なコミュニケーション)

◀ 自治会活動案内チラシ作成、SNS技術支援講座 ▶

行事案内チラシ、お知らせチラシ、回覧板などの紙媒体コンテンツの充実を図ります。

これまで、「入居者が自治会活動に対して関心がない」との課題がありました。

自治会役員の方が、各種案内チラシを作成していると思いますが、さらに関心を持ってもらうためにはどうすれば良いか等、見て読んで相手に伝わる案内チラシ作成の相談や、自治会のFacebookの作成等の提案もいたします。

Bブロック全自治会向けに無料相談をおこなう予定です。

また、つながりを多く作る為に、様々な方法を活用することが大切ですので、自治会の活動を掲示板や回覧板で知らせます。市営住宅指定管理者のホームページで紹介したり、SNS、Facebook等に載せることも検討し、それを見て興味を持って頂いた方には、お問い合わせや相談、ご意見をいただきます。

③ さまざまな世代の人が気軽に集える交流のある団地にする (居場所づくり)

市営住宅自治会アンケートによりますと、サロン作り活動や専門講座(認知症理解や予防)イベント企画等、学ぶ機会があればいいとの意見が出ていましたので、当社は自治会活動支援としていろいろな講座の提案をします。



◀ 出前サークル活動 ▶

当社連携法人のNPO法人シーズネットさんには、34の活動サークルがあります。

「紙手紙教室」「男の料理教室」「お抹茶を楽しむ会」「歌謡体操」「酒と語り場」「シーズネット合唱団」「シニアの英会話」「初級川柳教室」「ハーモニカ・オカリナ教室」「囲碁を楽しむ会」など沢山のサークルがあります。

これらのサークルが地域の共同施設にお邪魔して、一緒に参加してもらいながら新たな趣味を見つけたり増やしたりして、仲間の輪を広げて行きます。

◀ サークュラーエコノミーバザー ▶

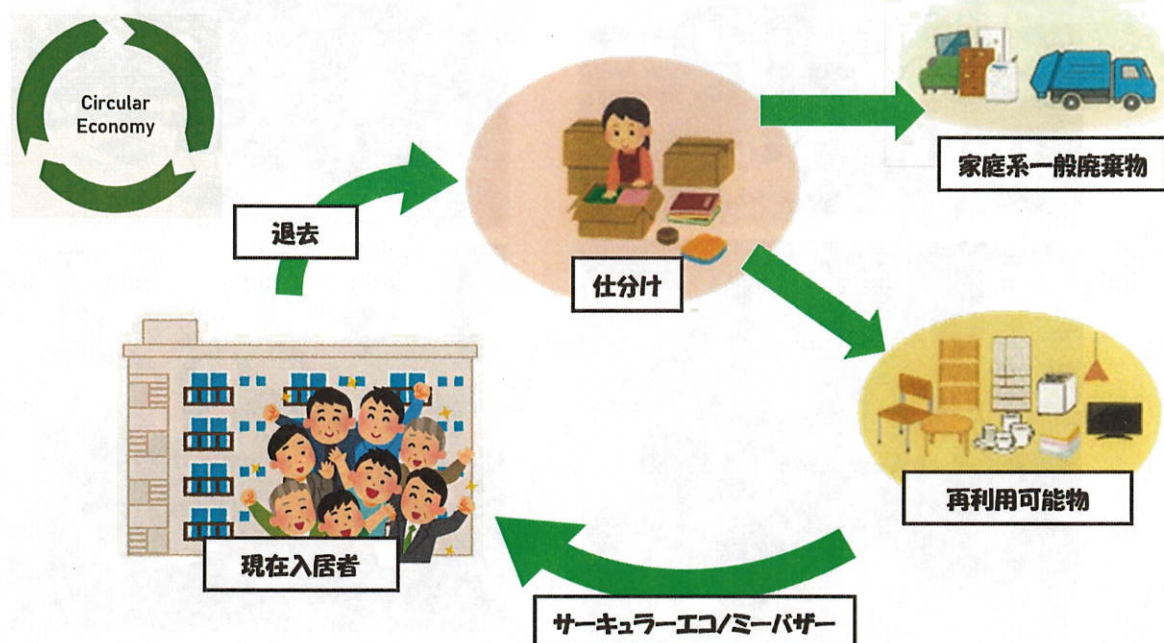
札幌市さんは、ゼロカーボンシティ、循環型社会の実現を提案しています。

当社は、市営住宅指定管理者業務についても同じだと考えます。廃棄物という概念のない循環型社会(サーキュラー・エコノミー)や3R(リデュース、リユース、リサイクル)の考え方のパンフレットの配布をおこない、市営住宅退去居室から出た家財品のバザーの開催を予定しています。当社では、市営住宅の退去住居の後処理をおこなっております。これらから出る家財品等を、リサイクル可能品とし市営住宅入居者さんに格安で販売します。

メリットとして、

- 1) 廃棄物(ゴミの削減)
- 2) 廃棄物(ゴミの削減)
- 3) 廃棄処理費用の削減
- 4) 廃棄物処理にかかる温室効果ガスの削減
(ゼロカーボン)
- 5) 再利用品を市営住宅内で循環還元する
(サーキュラー・エコノミー)

近年いろいろなところで聞く、循環型社会や SDGsの考え方を学び、お得にリサイクル品を入手できます。入居者さんにとってもメリットがあり、参加しやすい活動だと考えています。



◀ プロによるお掃除講座 ▶

当社は自主的な取り組みとして、自治会、町内会、小・中学校などからの要請により「お役立ちお掃除講座」を開催しております。

長年培ってきた、ビルメンテナンス企業としてのノウハウを活かしたお掃除のコツや、汎用品店で買える道具を選ぶポイント、洗剤を選ぶ時の注意事項などを講習します。

また、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、消毒清掃の方法や、消毒剤の知識など、正しい感染対策知識や掃除方法を学べるよう、幅広い年齢層に向けた講習内容も用意しています。



◀ ワークショップ ▶

自治会支援活動を進めて行く中では、自治会役員を最初から担わせることとは一旦切り離した立場で関わって頂けるボランティアスタッフの存在が必要です。

しかし、現実にはボランティアスタッフを公募してもなかなか集まらない状況です。

まずはイベント企画などの来場者に、ボランティアとして企画から参加していただける方がいないか、お声掛けをおこなって行きます。

ボランティアスタッフには、色々見て聞いて頂いて、将来の新たな担い手となれるよう、サポートして行きます。

将来的には入居者同士が主体となって運営するワークショップの開催などを目指します。



6. 防火・防災・非常時に強い自治会へ

◀ 防火、防災、非常の時訓練や備え ▶

東日本大震災や北海道胆振東部地震によるブラックアウト、大雪、大雨被害等、近年想定外の災害による被害が相次いでいます。

緊急避難指示等が出た場合、行政や民間事業者に頼るだけでなく、日頃からの地域活動や人と人との結びつきが被害を最小限に食い止めた事例もあり、こうした災害を想定した団体訓練の活動は自治会組織の大切な役割です。

当社では、消防関係の資格を持つ者、警備員など、プロの従業員がいますので、自治会さんの防火、防災、非常時訓練をお手伝いします。

自治会の自衛消防組織が機能しておらず、団体訓練が成されていない自治会には、企画や実施のお手伝いをします。

団体訓練が終わったあとは、非常食の試食会や配布を取り入れたサロンを開催するなどして入居者同士の交流も深めて行きます。



市営住宅窓口センターには無料給水スポットを常設し、マイボトル持参の方へリフィル（詰め替え）の水(nikko water)を提供いたします。

設置しました無料給水スポットの水は、非常時には緊急用の備蓄水として、自治会へ提供させていただきます。

また、SDGsの取組みとして、飲料水をペットボトル飲料からマイボトルへの詰め替えにすることによって、CO2排出量を減らし、環境負荷の低減に繋がる事を、利用者へお知らせさせていただきます。



自治会支援活動まとめ

- ◆ 高齢者の閉じこもりや孤立を予防する仕掛けづくり支援
- ◆ 地域及び団地全体で取り組む高齢者の見守り支援
- ◆ 無関心層の取り込みや新たなサークル化・サロン化（組織化）の支援
- ◆ 子育て世代にあたる若い入居者層と自治会活動との接点を増やす支援
- ◆ 自治会活動の新たな担い手育成支援

当社は、自治会の円滑な運営と活性化を促進するために「新たな担い手の確保」、「情報発信・情報共有」、「活動・行事」、「組織・運営」の視点が重要になると考えます。

それぞれの視点において、その取組みを改善したり工夫したりすることで、今よりも円滑な運営に近づいて行き、入居者にとって「顔の見える自治会」にして行きたいと考えております。

今回こうした地域や専門機関と連携することによって、住民相互のコミュニティ活動の活性化と再生化を図る一助としてお手伝いさせて頂くことができますし、同じ団地に住む住民同士が地縁団体としての共同体意識をさらに持って、新たな自己解決能力が備わった自治会組織に発展して行くことが期待されます。

当社は、この自治会支援活動に賛同頂く専門機関や団体と一緒にできる限りのお手伝いをさせていただきます。



科目	予算額	摘要
旅費・交通費	30	お掃除講座会場など交通費
光熱水費		
通信運搬費	1	安心ほっとコール 通話料:1件あたり30円×2世帯 月額60円×12ヶ月 年間720円
租税公課		
広告宣伝費		
保険料		
賃借料		
リース料	86	元町北東会館利用料 6,000円×12回(11月～5月まで暖房料プラス2,000円) 年間86,000円
修繕費		
消耗品費		
備品費		
印刷製本費		
諸謝金		
委託費		
支払手数料		
行政財産の目的外使用料		
人経費	30	お掃除講座(講師派遣料1回3万円)
合計	147	

令和8年度 自主事業実施計画表

令和8年3月31日

月	まごころサロン、GOGOサロン日程 元町北東会館 (毎月第2, 第4水曜日2回)	安心ホットコール	プロによるお掃除講座	サーキュラーエコノミバザー
4	8日、22日	登録者2件 毎月15日ごろ実施		リサイクル品準備年度
5	13日、27日	登録者2件 毎月15日ごろ実施		
6	10日、24日	登録者2件 毎月15日ごろ実施		
7	8日、22日	登録者2件 毎月15日ごろ実施		
8	12日、26日	登録者2件 毎月15日ごろ実施		
9	9日、23日	登録者2件 毎月15日ごろ実施		
10	14日、28日	登録者2件 毎月15日ごろ実施		
11	11日、25日	登録者2件 毎月15日ごろ実施	まごころサロン終了時に実施(床・壁・トイレ・換気扇・結露対策等)	
12	9日、23日	登録者2件 毎月15日ごろ実施		
1	13日、27日	登録者2件 毎月15日ごろ実施		
2	10日、24日	登録者2件 毎月15日ごろ実施		
3	10日、24日	登録者2件 毎月15日ごろ実施		